

## 1. 同時多発的複合災害がおきることを想定したことがあるか

自然現象の複雑さによってさまざまな災害が起きますが、その関係は単純ではありません。例えば、地震が起きたとしても津波、ユレによる建物被害、地盤災害など多岐に亘ってさまざま被害が発生します。これも複合災害ということも出来ますが、われわれがこれまであまり経験していないのは、別のタイプの自然災害が並列的に発生するというものです。例えば、豪雨や台風のさなかに巨大地震がほぼ同じ時間に発生するというようなことが当然想定可能です。そのようなときにどのようなことが考えられるのかというと、先ずはどこに避難するか、避難ルートは確実に確保されるかということになります。そして、どのような避難生活で何時戻れるのかあるいは被害の程度などが気になります。避難所にしても、複合災害の場合には指定避難場所は万能ではありませんので、その選択にも悩むと思います。複合災害は発生時期や時間、規模、継続時間にも関係するものの、さまざまな判断を即時にしなければならない状況になります。

このようなことを想定して、事前の備えとしてどんなことが考えられるのでしょうか。大事なことは、地域でどんなことが起きるのかを事前に知っておくことが大事です。それに対して、基本形とでもいうような対応をしっかりと周知しておくことですが、その場での修正が必要となるかもしれませんので、その応用能力を訓練等で身につけておくことになると思います。むずかしく言うと、高度なリスク判断、これがないと適切な行動も出来ないし、二次災害に対しても対応できないことになると思います。その場限りの近視眼的な発作的な判断は危険性が高くなったり、火災などの新たな被害を誘導することにもなります。このことは、日常生活の中でシミュレーションしておくことが望ましく、だましや詐欺に合わないための対策にも通じるものですので、避難訓練時にこのような視点からの対応が学べるようなプログラムも必要だと思います。つまり、複合災害のときには、錯綜する中で適切に情報を整理して、迅速な対応を伝達しなければなりません。そのときに、われわれはそれらの情報を読み取って行動することが必要となりますので、基本的な知識や事例での学習が欠かせないと思います。先ずは、複合災害が発生する可能性があるということを認識すること、自分は大丈夫とか行政任せというようなことは避けなければなりません。自分あるいは地域でやれることは何かという問題意識を持つこと、情報を共有して、日常生活に落としておくことが大事なことです。避難訓練でも、同じことを実施するのではなく、PDCA サイクルを活用することも有用です。このようなことを日常的に習慣化することで問題解決への能力がアップします。